
西本豊弘年譜

- 1947年(昭和22年)
5月 大阪生まれ
- 1967年(昭和42年)
4月 早稲田大学教育学部地理歴史専修入学
- 1971年(昭和46年)
3月 早稲田大学教育学部地理歴史専修卒業
- 1972年(昭和47年)
4月 北海道大学大学院文学研究科研究生
- 1975年(昭和50年)
4月 北海道大学大学院文学研究科修士課程入学
- 1977年(昭和52年)
3月 同上 修了
4月 北海道大学大学院文学研究科博士課程入学
6月～9月 北海道大学大学院文学研究科教務補佐員
9月 北海道大学大学院文学研究科博士課程復学
- 1981年(昭和56年)
3月 北海道大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
4月 札幌医科大学解剖学第2講座助手着任
- 1983年(昭和58年)
3月 札幌医科大学解剖学第2講座助手退職
4月 国立歴史民俗博物館考古研究部助手着任
- 1985年(昭和60年)
11月 同上 助教授
- 1986年(昭和61年)
4月 歴博・共同研究『動物考古学の基礎的研究』研究代表者
(1987年度まで)
- 1994年(平成6年)
4月 歴博・特定研究『アイヌ文化の成立過程について』研究代表者
(1997年度まで)
4月 企画展示『動物とのつきあい』展示プロジェクト代表
(1996年まで)
- 1996年(平成8年)
3月 企画展示『動物とのつきあい』開催(展示代表者)
- 1998年(平成10年)
4月 国立歴史民俗博物館考古研究部教授
- 1999年(平成11年)
4月 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻教授併任
- 2000年(平成12年)
4月 企画展示『北の島の縄文人』展示プロジェクト代表
- 2001年(平成13年)
4月 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻長併任
(2003年3月まで)
-

-
- 7月 企画展示『北の島の縄文人』開催(展示代表者)
- 2003年(平成15年)
- 4月 企画展示『水辺と森の縄文人』展示プロジェクト代表
(2005年まで)
- 2004年(平成16年)
- 4月 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館教授研究部に配置換
国立歴史民俗博物館研究連携センター長併任
(2006年3月まで)
- 4月 文部科学省科学研究費補助金・学術創成研究「弥生農耕の起源と東アジア」研究代表者
(2009年3月まで)
- 2005年(平成17年)
- 6月 企画展示『水辺と森の縄文人』開催(展示代表者)
- 2009年(平成21年)
- 4月 文部省科学研究費補助金・基盤研究(A)「霞ヶ浦沿岸花室川流域の旧石器文化の研究」研究代表者
(2011年度まで)
- 2013年(平成25年)
- 3月 国立歴史民俗博物館研究部教授 退職
-

西本豊弘主要業績目録

- 1971 年度（昭和 46 年度）
『貝鳥貝塚』草間俊一・金子浩昌編著 岩手県花泉町教育委員会（分担執筆）
- 1972 年度（昭和 47 年度）
『古和田台 縄文前期集落遺跡発掘調査概報』千葉県船橋市教育委員会（共著*）
- 1974 年度（昭和 49 年度）
「沿海州ベスチャスイ半島出土の動物遺存体」北海道史研究 3（共著*）
「動物遺存体について」『遠矢第 2 チャシ跡遺跡調査報告』北海道教育委員会
「苫小牧美々鹿肉缶詰製造所址出土の動物遺存体について」『苫小牧市美々「開拓使美々鹿肉缶詰製造所」
址発掘調査報告書』苫小牧市教育委員会
- 1975 年度（昭和 50 年度）
「調査ノート 斜里町タンネウシ貝塚採集品」北海道史研究 7（共著*）
「動物遺存体」大場利夫・大井晴男編『香深井遺跡 上』東京大学出版会（分担執筆）
「美々貝塚出土の動物遺存体」『美々貝塚』北海道千歳市教育委員会
- 1977 年度（昭和 52 年度）
「動物遺存体について」『白老町虎杖浜 2 遺跡』白老町教育委員会
- 1978 年度（昭和 53 年度）
「オホーツク文化の生業について」物質文化 31
「動物遺存体」『亦稚貝塚』北海道利尻町教育委員会
「骨・角・歯製品・動物遺存体」『稲倉石岩陰遺跡』厚沢部町教育委員会
「江別太遺跡より出土した動物遺存体について」『江別太遺跡』北海道江別市教育委員会
「美々 4 遺跡から出土した動物遺存体」『美沢川流域の遺跡群Ⅲ』北海道埋蔵文化財センター
“FAUNAL REMAINS” THE HOT SPRING VILLAGE SITE (3) ed.by Hiroaki Okada, Atsuko Okada
and Yoshinobu Kotani. The Institute for the Study of North Eurasian Cultures, Faculty of Letters,
Hokkaido University
- 1979 年度（昭和 54 年度）
「美沢 4 遺跡出土動物遺存体」『フレバイ遺跡群』北海道埋蔵文化財センター
「寿都 3 遺跡出土の動物遺存体」『寿都町文化財調査報告書Ⅱ』北海道寿都町教育委員会
「瀬田内チャシ跡出土動物遺存体」『瀬田内チャシ跡遺跡発掘調査報告書』北海道瀬棚町教育委員会
- 1980 年度（昭和 55 年度）
「生業研究における石器・骨角器の意味」『古代探叢』
「礼文島香深井 A 遺跡出土ヒグマの年齢・死亡時期・性別の査定について」北方文化研究 13（共著*）
「骨角器・骨角製品について」大場利夫・大井晴男編『香深井遺跡下』東京大学出版会
「動物遺存体について」大場利夫・大井晴男編『香深井遺跡 下』東京大学出版会（分担執筆）
「大自然の中に生きる」アニマ 96（共著）
「社台 1 遺跡出土の動物遺存体」『社台 1 遺跡・虎杖浜 4 遺跡・千歳 4 遺跡・富岸遺跡』北海道埋蔵文化財
センター
「尾白内中学校所蔵の尾白内貝塚出土動物遺存体」『尾白内』北海道教育委員会
「美々 4 遺跡出土の動物遺存体」『美沢川流域の遺跡群Ⅳ』北海道埋蔵文化財センター
「須藤遺跡出土の動物遺存体」『須藤遺跡・内藤遺跡発掘調査報告』北海道斜里町教育委員会
- 1981 年度（昭和 56 年度）
-

-
- 「礼文島香深井 A 遺跡出土オットセイの年齢・死亡時期の査定について」北方文化研究 14 (共著*)
「カリカリウス遺跡出土の動物遺存体」『伊茶仁カリカリウス遺跡発掘報告』北海道標津町教育委員会
「動物遺存体」『史跡上ノ国勝山館跡 3』北海道上ノ国町教育委員会
- 1982 年度 (昭和 57 年度)
- 「流水上の狩人たち」アニメ 121
「人とエゾシカ」アニメ 121 (共著)
「網走市能取西岸遺跡について」北海道考古学 19 (共著)
「狩猟漁撈対象動物の地域性」季刊考古学創刊号 (共著*)
「ウエンナイ 2 遺跡出土動物遺存体」『ウエンナイ 2 遺跡』北海道枝幸町教育委員
「ママチ遺跡出土の動物遺存体」『ママチ遺跡』北海道埋蔵文化財センター
「動物遺存体」『上ノ国勝山館Ⅳ』北海道上ノ国町教育委員会
「栄浜 1 遺跡出土の動物遺存体」『栄浜』北海道八雲町教育委員会
「尾河台地遺跡出土の動物遺存体」『尾河台地遺跡発掘報告書』北海道斜里町教育委員会
「開成 4 遺跡出土の動物遺存体」『開成 4 遺跡』北海道北見市立郷土博物館
- 1983 年度 (昭和 58 年度)
- 「縄文時代の動物と儀礼」歴史公論 94
「動物の死亡時期査定と遺跡利用の季節性について」考古学ジャーナル 223
「イヌ」『縄文文化の研究 2』生業 雄山閣
「北海道の縄文-続縄文文化の狩猟と漁撈」国立歴史民俗博物館研究報告第 4 集
「骨角器・動物遺存体」『南有珠 6』札幌医科大学解剖学第 2 講座
「北海道三ツ谷貝塚出土縄文時代人上顎洞における骨病変について」人類学雑誌 91 - 4 (共著*)
「美里洞窟出土の動物遺存体」北見郷土博物館紀要 14 (共著)
「動物遺存体」『中山遺跡発掘報告書』五城目町教育委員会
「音別町ノトロ岬遺跡出土の動物遺存体」『ノトロ岬』北海道音別町教育委員会
「恵山貝塚出土の骨角器と動物遺存体」『恵山貝塚』北海道尻岸内町教育委員会
- 1984 年度 (昭和 59 年度)
- 「動物質食料と環境」歴史公論 103
「北海道の狩猟・漁労活動の変遷」国立歴史民俗博物館研究報告第 6 号
「オホーツク文化の生業」『北海道の研究 2』清文堂
「オホーツク文化の生業技術」考古学ジャーナル 235
「狩猟・漁労の場と環境」季刊考古学第 7 号
「古代人とウシ」都道府県展望 316
「13 号住居址出土の動物遺存体」『松法川北岸遺跡』北海道羅臼町教育委員会
「ヒグマをめぐる人間活動・ヒグマ以外の狩猟活動」『アイヌ民俗文化財調査報告書・アイヌ民俗調査Ⅳ』
北海道教育委員会
「シノタイ遺跡出土動物遺存体」『トニカチャシコツ』北海道門別町教育委員会
『伊川津遺跡調査概報』愛知県渥美町教育委員会 (分担執筆)
『犬の系統と移動に関する研究』科研報告書 (代表者: 茂原信夫) (分担執筆)
- 1985 年度 (昭和 60 年度)
- 「北海道縄文時代イノシシの問題」『古代探叢Ⅱ』
「北海道・本州東北におけるオットセイの系譜」季刊考古学第 11 号 (共著*)
『環太平洋北部地域における狩猟獣の捕獲・配分・儀礼』科研報告書 (研究代表者: 大井晴男) (分担執筆)
「動物遺存体」『重兵衛沢 2 遺跡』北海道礼文町教育委員会
「中ノ島遺跡出土の動物遺存体」『中ノ島遺跡Ⅱ』北海道北見市教育委員会
「有珠善光寺 2 遺跡出土の動物遺存体」『有珠善光寺 2 遺跡』北海道伊達市教育委員会
「香川三線遺跡出土骨片野同定」『香川三線遺跡』北海道苫前町教育委員会
-

-
- 「富山県南太閤山 I 遺跡出土の動物遺体」『南太閤山 I 遺跡』富山県教育委員会
 1986 年度（昭和 61 年度）
 「狩猟・漁撈対象物」季刊考古学 14（共著*）
 「第 1・第 2 地点出土のウマについて」『館町遺跡Ⅲ』八王子市館町遺跡調査団
 「香川 6・香川三線遺跡出土骨片の同定」『香川 6・香川三線遺跡』北海道苫前町教育委員会
 1987 年度（昭和 62 年度）
 『伊川津遺跡』愛知県渥美町教育委員会（分担執筆）
 「骨角製漁具」季刊考古学 21
 「高砂貝塚出土の動物遺体」『高砂貝塚』札幌医科大学解剖学第 2 講座
 「古代人とウマ」地方競馬 1987 年 8 月号
 「北海道の縄文文化以降の骨角器」月刊文化財 290
 「TK67 遺跡出土の動物遺存体について」『TK67 遺跡』北海道常呂町教育委員会
 「寺町貝塚遺跡出土の動物遺存体」『寺町貝塚』北海道松前町教育委員会（共著）
 1988 年度（昭和 63 年度）
 「動物考古学の現状」『列島の文化史』第 5 号
 「微細剥片の 3 次元分布と属性分析」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 29 集（共著*）
 「骨角貝製品・動物遺体」『茶津洞穴遺跡発掘調査報告書』北海道泊村教育委員会（分担執筆）
 「フレトイ貝塚出土の動物遺体」『フレトイ貝塚』北海道小清水町
 「動物遺体」『有珠善光寺 2 遺跡』北海道伊達市教育委員会
 「沢町遺跡出土の動物遺体」『沢町遺跡』北海道余市町教育委員会
 「川東 I 遺跡出土の動物遺体」『川東 1 遺跡』北海道北見市
 「下郡桑苗遺跡出土の動物遺体」『下郡桑苗遺跡』大分県教育委員会
 「下堀切遺跡出土の動物遺体」『下堀切遺跡Ⅱ』熊本県八代市教育委員会
 共著「北見市中ノ島遺跡の動物遺存体について」北網圏北見文化センター研究報告
 1989 年度（平成元年度）
 「クマ送りの起源について」『考古学と民族誌』
 「ブタと日本人」歴博 34
 「弥生時代のブタ」季刊考古学 28
 「ピラガ丘遺跡秋山地点から出土した動物遺存体について」『ピラガ丘遺跡—秋山地点発掘調査報告書—』
 北海道斜里町教育委員会
 「伊茶仁チシネ第 3 遺跡出土の動物遺体」『伊茶仁チシネ第 3 竪穴群遺跡』北海道標津町教育委員会
 「動物遺体」『茶津貝塚』北海道文化財研究所
 「善通寺市永井遺跡産出の動物遺体（2）」『永井遺跡』香川県教育委員会
 「餅屋沢遺跡出土の動物遺体」『蘭島餅屋沢遺跡』北海道小樽市教育委員会（共著）
 「印内台第 7 次調査出土の動物遺体」『印内台遺跡—第 7 次・8 次調査報告書—』（共著）
 「オタフク岩洞窟出土の骨角器」『オタフク岩洞窟』北海道羅臼町教育委員会（共著）
 「オタフク岩洞窟出土の動物遺体」『オタフク岩洞窟』北海道羅臼町教育委員会（共著）
 1990 年度（平成 2 年度）
 「動物考古学の現状と課題」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 29 集
 『国立歴史民俗博物館研究報告』第 29 集 共同研究 動物考古学の基礎的研究（編著）
 「縄文時代のシカ・イノシシ狩猟」古代第 91 号
 「犬と日本人」青淵 496
 「タンネウシ貝塚の動物遺体」知床博物館研究報告 12（共著）
 1991 年度（平成 3 年度）
 「縄文時代のシカ・イノシシ狩猟」古代 91
 「弥生時代のブタについて」国立歴史民俗博物館研究報告第 36 集
-

-
- 「動物考古学の方法」国立歴史民俗博物館研究報告第42集
「動物考古学文献目録」国立歴史民俗博物館研究報告第42集（共著）
『国立歴史民俗博物館研究報告』第42集 共同研究「動物考古学の基礎的研究（続）」（編著）
「狩猟」『古墳時代の研究』4 雄山閣
「衣食住」『日本村落史講座6 生活』雄山閣（共著）
「ブタの歯槽膿漏について」『弥生文化』大阪府弥生文化博物館
「下郡桑苗遺跡出土の動物遺体」『下郡桑苗遺跡Ⅱ』大分県教育委員会
「吉野ヶ里遺跡出土の動物遺体」『吉野ヶ里』佐賀県教育委員会
「朝日遺跡の動物遺体」『朝日遺跡・自然科学編』愛知県埋蔵文化財センター（共著）
「朝日遺跡の弥生時代のブタ」『朝日遺跡・自然科学編』愛知県埋蔵文化財センター
「粟津湖底第3貝塚ブロックサンプルの動物遺存体」『粟津湖底遺跡』滋賀県
「A区出土骨塚の動物遺存体」『浜中2遺跡の発掘調査』北海礼文町教育委員会
「コタン温泉遺跡の動物遺体」『コタン温泉遺跡』北海道八雲町
「下坂田貝塚試掘調査で出土した動物遺存体」前田潮編『「古霞ヶ浦湾」沿岸貝塚の研究』
- 1992年度（平成4年度）
「弥生時代のブタの形質について」国立歴史民俗博物館研究報告第50集
「縄文文化と貝塚」『考古学と古代日本文化』
『戸井貝塚Ⅲ』北海道戸井町教育委員会（編著）
「堀株1遺跡の動物遺体」『堀株1・2遺跡』北海道文化財研究所
「オシヨコマナイ河口東遺跡出土の鳥類と獣類」『オシヨコマナイ河口東遺跡・オタモイ1遺跡』北海道斜里町教育委員会（共著）
- 1993年度（平成5年度）
「弥生人はブタを飼っていたか」『新視点日本の歴史1』新人物往来社
「海獣狩猟から見た津軽海峡の文化交流」古代文化45-4
「弥生時代のニワトリ」動物考古学第1号
「動物考古学について」化学と工業46-3
「朝日遺跡出土のイヌと動物遺体のまとめ」『朝日遺跡Ⅴ』愛知県埋蔵文化財センター
「酒見貝塚の動物遺体」『酒見貝塚』福岡県大川市教育委員会
「根室コタンケシ遺跡出土の動物遺体」『根室市コタンケシ遺跡発掘調査報告書』
「穂香堅穴群出土の動物遺体」『穂香堅穴群遺跡発掘報告書』
「ボンマ遺跡出土の動物遺体」『有珠ボンマ遺跡』北海道伊達市教育委員会
「目梨泊遺跡出土の動物遺体」『目梨泊遺跡』北海道枝幸町教育委員会
「ウトロ遺跡神社山地点第3次（1990年度）発掘調査報告」知床博物館研究報告15（共著）
- 1994年度（平成6年度）
「イヌと日本人」藤本 強編『考古学は楽しい』日本経済新聞社
「縄文時代の食生活」藤本 強編『考古学は楽しい』日本経済新聞社
「縄文人と弥生人の動物観」国立歴史民俗博物館研究報告第61集
「縄文時代のテリトリーについて」動物考古学第2号
“Domesticated pigs in the early Agriculture Period in Japan”. *Archaeozoologia* 2
「縄文時代のシカ・イノシシの大きさの変異」動物考古学第2号（共著*）
「動物遺存体から見た食文化」山梨考古49
「高崎貝塚第67号土壙出土の魚骨・獣骨の問題点」研究ノート4号 茨城県教育財団（共著）
「丸の内三丁目遺跡出土の動物遺存体」『丸の内三丁目遺跡』東京都埋蔵文化財センター（共著）
「入江貝塚の動物遺体」『入江貝塚出土の遺物』北海道虻田町教育委員会（共著）
「宝島大池遺跡出土の動物遺体」『トカラ列島の考古学的調査 十島村埋蔵文化財調査報告第1集 宝島大池遺跡』
-

-
- 「動物遺体」『木造町田小屋野貝塚』青森県立郷土館（共著）
 『伊川津遺跡 1992年度調査』愛知県渥美町教育委員会（分担執筆）
 「常呂町栄浦第二遺跡出土の動物遺体」『栄浦第二・第一遺跡』北海道常呂町教育委員会（共著）
 「馬場 No.6 遺跡出土の動物遺体」『宮ヶ瀬遺跡群 V』かながわ考古学財団
- 1995年（平成7年）
 『中妻貝塚』茨城県取手市教育委員会（共編著）
 「縄文人の食肉交換について」動物考古学第5号
 「縄文人は何を食べていたか」戸沢充則編『縄文人の時代』新泉社
 「北部日本の遺跡から出土するアシカ類と海獣狩猟」海洋と生物 101
 「魚と鳥の肉食生活」梅原猛・安田喜憲編『縄文文明の発見』
 「駄ノ塚古墳石室出土の貝殻について」国立歴史民俗博物館研究報告第65集
 「川西遺跡出土の動物遺体」『湧別町川西遺跡』北海道立北方民族博物館
- 1996年度（平成8年度）
 「縄文時代の狩猟と儀礼」季刊考古学 55
 「弥生時代の動物質食料」国立歴史民俗博物館研究報告第70集
 「動物から見たアイヌ文化の成立—クマ送りの起源を中心に—」講演記録『アイヌ文化の成立を考える』北海道立北方民族博物館
 「中妻貝塚出土多数合葬人骨の歯冠計測値にもとづく血縁関係」動物考古学第6号（共著*）
 『企画展示図録 動物とのつきあい』国立歴史民俗博物館（編著）
 「大師東丹保遺跡Ⅳ区出土の動物遺体」『大師東丹保遺跡Ⅳ区』山梨県教育委員会
 「汐留遺跡出土の動物遺体」『汐留遺跡 1. 第5分冊』東京都埋蔵文化財センター
 「動物遺体と鹿角加工品」『塚崎東畑遺跡』福岡県教育委員会
 「永田町遺跡出土の動物遺体」『永田町遺跡』東京都教育委員会（共著）
 「中野久木谷頭遺跡出土の動物遺体」『中野久木谷頭遺跡 C 地点』山武考古学研究所（共著）
 「池子遺跡群 No.6 地点、No.7 地点（東地区・西地区）、No.15 地点出土の動物遺体」『池子遺跡群Ⅳ第2分冊』神奈川考古学財団（共著）
- 1997年度（平成9年度）
 「日本の家畜」『アエラムック 考古学がわかる』朝日新聞社
 「鎌倉由比ヶ浜南遺跡の獣類頭蓋骨列」動物考古学第9号（共著*）
 「弥生時代の家畜について」耕 75号
 「三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土の鳥類。哺乳類遺体」『三内丸山遺跡Ⅸ』青森県教育委員会
 「咳止遺跡出土の動物遺体」『咳止橋遺跡』伊勢原市 No.128 遺跡調査団（共著）
 「動物遺尊存体」『千駄ヶ谷5丁目遺跡』千駄ヶ谷5丁目遺跡調査会（共著）
 「下林西田遺跡の動物遺体」『下林西田遺跡』福岡県教育委員会（共著）
 「十勝太海岸砂丘遺跡出土の動物遺体」『十勝太海岸砂丘遺跡』北海道浦幌町教育委員会（共著）
 「大谷地貝塚出土の鳥類・哺乳類」『大谷地貝塚』北海道余市町教育委員会
- 1998年度（平成10年度）
 『縄文時代の考古学』学生社（共著*）
 「DNA分析と形態データによる中妻貝塚出土人骨野血縁関係の分析」動物考古学第11号（共著*）
 「池子遺跡群 No. 4 地点出土の動物遺体」『池子遺跡群Ⅷ』かながわ考古学財団（共著）
 「No.1 - A 東地点の動物遺体」『池子遺跡群Ⅸ 第1分冊』かながわ考古学財団（共著）
 「No.1 - A 南地点の動物遺体」『池子遺跡群Ⅸ 第2分冊』かながわ考古学財団（共著）
 「No.1 - A 地点の動物遺体」『池子遺跡群Ⅹ 第2分冊』かながわ考古学財団（共著）
 「池子遺跡群の哺乳類遺体」『池子遺跡群Ⅹ 第4分冊』（共著）
 「四葉遺跡出土の動物遺体」『四葉遺跡』四葉遺跡調査会
 「有吉北貝塚出土の動物遺体」千葉県文化財センター（共著）
-

-
- 「池内遺跡出土の動物遺体」『池内遺跡 遺物編』秋田県埋蔵文化財センター
「石倉貝塚出土の動物遺体」・「石倉貝塚の意味」『石倉貝塚』函館市教育委員会
「前田村D・G・H・I区出土の人骨と動物遺体」・「前田村J・K区出土の人骨について」『茨城県教育財
団文化財調査報告』146・147
- 1999年度（平成11年度）
『考古学と動物学』同成社（共編著）
『特定研究 アイス文化の成立過程について 浜中2遺跡発掘調査報告』国立歴史民俗博物館研究報告第
85集（編著）
『礼文町船泊遺跡発掘調査報告書』北海道礼文町教育委員会（編著）
「礼文町船泊遺跡の発掘調査」北海道考古学35
「鎌倉市由比ヶ浜南遺跡の出土馬について」馬の博物館編『鎌倉野武士と馬』名著出版
「可能性が高まった縄文ブタの飼育」・「縄文人の動物観うかがえる海獣浮体の動物儀礼」小林達夫編『最
新縄文の世界』朝日新聞社
「大師東丹保遺跡Ⅱ・Ⅲ区出土の動物遺体」『大師東丹保遺跡Ⅱ・Ⅲ区』山梨県教育委員会
- 2000年度（平成12年度）
「コンピュータグラフィックによる遺跡景観の復元—青森県三内丸山遺跡を例として」動物考古学15（共
著*）
「三内丸山人の資源利用モデルの構築2」『特別史跡 三内丸山遺跡年報4』青森県教育委員会（共著）
『企画展示図録 北の島の縄文人』国立歴史民俗博物館（編著）
「江戸薩摩藩邸の動物」展示図録『江戸動物図鑑』東京都港区立郷土資料館（共著*）
「吉見台遺跡A地点出土の動物遺体」『吉見台遺跡A地点』印旛郡市埋蔵文化財センター（共著）
「日本柳遺跡出土の動物遺体」『日本柳遺跡』山梨県教育委員会（共著）
「汐留遺跡出土の動物遺体」『汐留遺跡Ⅱ 第1分冊』東京都埋蔵文化財センター（共著）
「藤岡神社遺跡出土の動物遺体」『藤岡神社遺跡』栃木県埋蔵文化財センター（共著）
「長畑馬場遺跡出土の動物遺体」『長畑馬場遺跡』長崎県大島町教育委員会（共著）
「屋代遺跡群出土の動物遺体」『屋代遺跡群』長野県更埴市教育委員会（共著）
「大泊浜貝塚出土の脊椎動物遺体」『大泊浜貝塚』国立歴史民俗博物館（共著）
「由比ヶ浜南遺跡出土の動物遺体」『由比ヶ浜南遺跡 第2分冊・分析編1』由比ヶ浜南遺跡発掘調査団（共
著）
「動物遺体」『千葉市内野第1遺跡発掘調査報告書 第Ⅲ分冊』千葉市文化財調査協会（共著）
- 2001年度（平成13年度）
「DNA分析による縄文後期人の血縁関係」動物考古学第16号（共著）
「海の利用」『青森県史 別編 三内丸山遺跡』青森県
「縄文集落の生態論（1）」動物考古学第17号（共著）
「家畜の考古学」『NHKスペシャル 日本人はるかな旅3』
「縄文時代のゴミ問題」廃棄物学会編『市民がつくるごみ読本 C&G6』
「石虎山I遺跡猪骨鑑定」（訳：袁靖）『岱海考古（二）—中日岱海地区考察研究報告集』科学出版社
「礼文島浜中2遺跡出土の動物遺体概要（第2～4次調査）」筑波大学 先史学・考古学研究第13号
「阿嶽洞窟遺跡出土の動物遺体」甲元真之編『環東中国甲海沿岸地域の先史文化』第5編（共著）
「室谷洞窟から出土した動物遺体」特別図録『重要文化財考古資料展—火焰土器と小瀬ヶ沢・室谷洞窟出
土品—』新潟県長岡市立科学博物館
「横山B遺跡出土の動物遺体について」『横山B遺跡』福島県いわき市教育委員会
「堂ノ原遺跡出土の動物遺体について」『堂ノ原遺跡』広野町教育委員会
「市ヶ谷本村町遺跡出土の動物遺体」『市ヶ谷本村町遺跡 尾張藩上屋敷跡遺跡—市ヶ谷北地区—』東京都
埋蔵文化財センター（共著）
「八重崎横穴墓群出土の人骨と動物遺体」『千葉県八日市場市八重崎横穴墓群』東総文化財センター（共著）
-

-
- 「岐志元村遺跡出土脊椎動物骨分析所見」宮本一夫編『福岡県岐志元村遺跡』九州大学大学院人文科学研究
 院（共著）
- 「内藤町遺跡出土の動物遺体について」『内藤町遺跡』東京都埋蔵文化財センター（共著）
- 「津南町芦ヶ崎西平遺跡出土のウマについて」『津南町芦ヶ崎西平遺跡』新潟県津南町教育委員会（共著）
- 2002 年度（平成 14 年度）
- 『特定研究 アイヌ文化の成立過程についてⅡ』国立歴史民俗博物館研究報告第 107 集（編著）
- 「生業」季刊考古学第 80 号
- 「縄文集落の生態論（2）」動物考古学第 18 号（共著*）
- 「縄文集落の生態論（3 - 1）」動物考古学第 19 号（共著*）
- 「哺乳動物骨格図集（1）」動物考古学第 19 号
- 「AMS14C 年代測定と土器編年との対比による高精度編年の研究」考古学と自然科学第 45 号（共著*）
- 「対談 DNA 人類学の現在」歴博 115（共著*）
- 「下太田貝塚出土の鳥類・哺乳類遺体について」『千葉県茂原市 下太田貝塚』総南文化財センター（共著）
- 「福岡市雀居遺跡出土の動物遺体」『雀居 9』福岡市教育委員会（共著）
- 「分谷地 A 遺跡出土の動物遺体」『分谷地 A 遺跡』新潟県黒川村教育委員会
- 「信濃町南遺跡出土の動物遺体」『東京都新宿区信濃町南遺跡』大成エンジニアリング（共著）
- 「沢田遺跡出土動物遺体について」・「野地遺跡出土動物遺体について」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報
 平成 13 年度』（共著）
- 「上の台遺跡出土の人骨と動物骨」『上ノ台遺跡発掘調査報告書』茨城県日立市教育委員会（共著）
- 「汐留遺跡の動物遺体」『汐留遺跡Ⅲ』東京都埋蔵文化財センター（共著）
- 「動物遺体・骨角器」春成秀麿・新田重清編『沖縄茅打バンタ遺跡』国立歴史民俗博物館（共著）
- 「生実城出土のウマについて」『千葉県生実城跡—昭和 63 年度・平成 3～6 年度調査』千葉市教育委員会
- 2003 年度（平成 15 年度）
- 「縄文時代のブタ飼育について」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 108 集
- 『国立歴史民俗博物館研究報告共同研究』第 120 集 歴史資料の多角化と総合化（共編著）
- 「三内丸山遺跡の食料事情」『週間朝日百科 36 日本の歴史 原始・古代 6』朝日新聞社
- 「弥生時代の遺跡から出土したイノシシの遺伝的解析」動物考古学第 20 号（共著*）
- 「縄文時代の生態論（3 - 2）」動物考古学第 20 号（共著*）
- 「哺乳類動物骨格図集（2）」動物考古学第 20 号
- 「青田遺跡出土の動物遺体」『青田遺跡』新潟県教育委員会（共著）
- 「赤坂遺跡第 10 次調査出土の動物遺体」『赤坂遺跡』神奈川県三浦市教育委員会（共著）
- 「浜尻屋貝塚の動物遺体」『浜尻屋貝塚』青森県下北郡東通村教育委員会（共著）
- 「動物遺体」『大島町家の上遺跡』大島町教育委員会（共著）
- 「動物遺体」『千葉県佐倉市井野長割遺跡（第 4 次調査）』佐倉市教育委員会（共著）
- 「付編 井野長割遺跡出土の動物遺存体」『千葉県佐倉市井野長割遺跡（第 5 次）』佐倉市教育委員会（共著）
- 「二日市洞穴出土の動物遺体」『大分県二日市洞穴—分析編—』大分県九重町教育委員会（共著）
- 「木古内町蛇内遺跡出土の土製品」『木古内町蛇内遺跡』北海道木古内町教育委員会
- 「菖蒲崎貝塚出土鳥類・哺乳類について」『菖蒲崎貝塚』秋田県教育委員会
- 「動物遺体」『青田遺跡』新潟県教育委員会
- 2004 年度（平成 16 年度）
- 『弥生農耕の起源と東アジア 平成 16 年度 研究成果報告』文部科学省・科学研究費補助金 学術創成研
 究費（2）報告書（編著）
- 「日本の近世以前の飼育動物」在来家畜研究会報告 22
- 「村松白根遺跡の動物遺体（2003 年度）」『村松白根遺跡 1（下巻）』茨城県教育事業団茨城県教育財団
- 「坂井兵庫地区遺跡出土の動物遺体」『坂井兵庫地区遺跡群』福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
- 2005 年度（平成 17 年度）
-

-
- 『衣食住の歴史』 ポプラ社 (監修)
『企画展示図録 水辺と森と縄文人』 国立歴史民俗博物館 (編著)
「縄文人の食生態」 佐藤宏之編『食料獲得社会の考古学』 朝倉書店
「餅ノ沢遺跡の鳥形土器について」 動物考古学第22号
「動物骨格図集 (3)」 動物考古学第22号
「標津町伊茶仁カリカリウス遺跡出土の動物遺体」『伊茶仁カリカリウス遺跡 平成17年度調査報告書』
北海道標津町教育委員会
2006年度 (平成18年度)
『新弥生時代のはじまり 第1巻 弥生時代の新年代』 雄山閣 (編著)
『弥生農耕の起源と東アジア 平成17年度・18年度 研究成果報告』 文部科学省・科学研究費補助金
学術創成研究費 (2) 報告書 (編著)
「動物骨格図集 (4)」 動物考古学第23号
「西日本最古のキビ」 国立歴史民俗博物館研究報告第137集 (共著*)
「汐留遺跡の動物遺体」『汐留遺跡Ⅳ』 東京都埋蔵文化財センター (共著)
「村松白根遺跡の動物遺体 (2004年度)」『村松白根遺跡2 (下巻)』 茨城県教育事業団茨城県教育財団 (共著)
「河崎の柵疑定地出土の動物遺体」『河崎の柵疑定地発掘調査報告書』 岩手県文化振興事業団埋蔵文化
財センター (共著)
「青森県東道ノ上 (3) 遺跡の炭素14年代測定結果について」『東道ノ上 (3) 遺跡』 青森県教育委員会 (共著)
「崇源寺・正見寺出土の動物遺体」『崇源寺・正見寺跡』 大成エンジニアリング刊行 (共著)
「四谷一丁目南遺跡第2次調査出土の動物遺体」『四谷一丁目南遺跡Ⅱ』 大成エンジニアリング (共著)
2007年度 (平成19年度)
『新弥生時代のはじまり 第2巻』 雄山閣 (編著)
「縄文ヒエの年代一吉崎昌一先生を偲んで」 動物考古学第24号 (共著)
「動物骨格図集 (5)」 動物考古学第24号
「コラム 考古学と生業研究」 国立歴史民俗博物館編『生業から見る日本史』
「観音寺遺跡出土の動物遺体」『観音寺遺跡Ⅳ』 徳島県埋蔵文化財センター
「動物遺体」『清水天王山遺跡』 静岡市教育委員会
「天寧1遺跡出土の爬虫類・鳥類・哺乳類」『天寧1遺跡』 北海道埋蔵文化財センター
「後谷遺跡出土の動物遺体」『後谷遺跡 第4次発掘調査報告書 第Ⅲ分冊』 埼玉県桶川市教育委員会 (共著)
2008年度 (平成20年度)
『人と動物の日本史 1. 動物の考古学』 吉川弘文館 (編著)
『新弥生時代のはじまり 第3巻 東アジア青銅器の系譜』 雄山閣 (共編)
『新弥生時代のはじまり 第4巻 弥生時代のはじまりとその年代』 雄山閣 (編著)
『弥生農耕の起源と東アジア 平成17年度・18年度 研究成果報告』 文部科学省・科学研究費補助金
学術創成研究費 (2) 報告書 (編著)
「血縁関係の推定」『縄文時代の考古学10 人と社会』 同成社
「縄文時代中期の北日本におけるイヌビエ (*Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv.) 栽培について」 動物考
古学第25号 (共著*)
「動物骨格図集 (6)」 動物考古学第25号
2009年度 (平成21年度)
「茨城県花室川の旧石器時代遺物について」 動物考古学第26号 (共著)
「動物骨格図集 (7)」 動物考古学第26号
「DNA分析法」 斎藤努監修『必携 考古資料の自然科学的調査法』 ニューサイエンス社
「観音寺遺跡6区南環状道路地点出土の動物遺体」『観音寺遺跡Ⅲ』 徳島県埋蔵文化財センター (共著)
2010年度 (平成22年度)
「古村里遺跡の安定同位体分析」『釜山古村里生産遺跡下』 韓国東亜細亜文化財研究院 (共著*)
-

-
- 「古村里遺跡の家畜利用」韓国・東亜文化第9号（共著*）
「韓国の先史時代の家畜水牛」動物考古学第27号（共著*）
「金土貝塚の再吟味」動物考古学第27号（共著*）
「茨城県稲敷市沼田貝塚の動物遺体」『沼田貝塚』稲敷市教育委員会（共著）
「馬場遺跡241号土坑出土の動物遺体」『道作1号墳（第2次）・馬場遺跡第5地点（第1次・第2次）』
印旛郡市文化財センター（共著）

2011年度（平成23年度）

- 「縄文時代の狩猟活動の再検討」考古学ジャーナル625
「高岡新山遺跡出土の骨臓器内の人骨と鳥骨について」『佐倉市史研究』第25号 佐倉市
「西ヶ原貝塚の動物遺体」『西ヶ原貝塚第3分冊』東京都埋蔵文化財センター
「西ヶ原貝塚のイノシシの同位体分析」『西ヶ原貝塚第3分冊』東京都埋蔵文化財センター（共著）
「東三洞貝塚の動物遺体」河仁秀編著『東三洞貝塚浄化地域 動物遺体研究報告』韓国福泉博物館（共著）
「北黄金2遺跡2011年度調査の動物遺体」『北黄金2遺跡発掘調査概報Ⅱ』北海道伊達市噴火湾文化研究所
「獣骨類の同定 横尾貝塚の動物遺体」『横尾貝塚』大分県教育庁埋蔵文化財センター
「上境旭台貝塚の動物遺体」『上境旭台貝塚2』茨城県教育財団
「印内台遺跡群（53）調査地点出土の動物遺体について」『印内台遺跡群（53）』千葉県船橋市教育委員会（共著*）

2012年度（平成24年度）

- 「縄文時代のアズキについて」動物考古学第29号（共著）
「根付に用いられたイヌ下顎骨」動物考古学第29号（共著*）
「人と動物の歴史」平川 南編『環境の日本史1』吉川弘文館
（*のある共著は第1著者でないもの）